

サン・マイクロシステムズ株式会社 主催

## 2.0時代のテクノロジー・トレンド・セミナー

---

渡辺 聡 / 渡辺聡事務所

CNET Japan Blog「情報化社会の航海図」  
<http://blog.japan.cnet.com/watanabe/>

2006年3月22日

# なぜ今日、セミナー開催となったのか

---

- ◆ (Web)2.0というキーワードの広がり
  - インターネット業界中心に膨大な議論
    - ビジネスモデルとして洗練も進むが玉石混交の状態
    - ややバブルの気配も
  - ネット業界紙に限らずエンタープライズ向けメディア、一般全国紙(日本経済新聞など)にて広くキーワードとして取り上げられる
  - ネット業界と周辺業界の領域再定義
    - 通信と放送の融合
    - 携帯業界再編の気配

しかし、言葉も不明確でなんだか分からない状況

# なぜ今日、セミナー開催となったのか

---

## ◆エンタープライズ領域にとっての課題整理

- エンタープライズに連なるインターネット側の動向をキープレイヤーの事例をベースに

シックスアパートの平田大治氏、佐藤匡彦氏

- ネットで育った法人向けサービスを紹介

アイオイクスの滝日伴則氏、環の江尻俊章氏

- 技術見地を交えて、次世代のシステムインテグレーション

電通国際情報サービス飯田哲夫氏、サンマイクロシステムズ藤井彰人氏

# 自己紹介に代えて

---

## ➤ ネット系企業を中心にCIO及びCTOサポート

- 業界動向分析サポート

テクノロジー、業界トレンドを外部環境としてモニタリング支援

- ビジネスモデル設計支援

外部環境と競争条件に照らしあわしての事業モデルの設計、再設計サポート

- 技術ベースの戦略立案支援

- 技術力、開発力と事業計画のギャップ算定と調整支援

- システムアーキテクチャー設計支援

システムインフラ、業務オペレーション設計を支援

## ➤ ベンチャーキャピタル支援

**戦略と技術の橋渡し(と競争力強化)**

# 自己紹介に代えて

## ◆メディア関連実績

### ➤CNET Japan

- 「情報化社会の航海図」
- CNET Japan Innovation Conference (2005, 2006)



### ➤出版

- 『RSSマーケティングガイド』 (インプレス)
- 『アルファブロガー』 (翔泳社)
- 『Web2.0』 (仮題) (翔泳社出版予定)
- 「Web 2.0」が企業システムに与えるインパクトを探る (月刊Computerworld)
- 検索テクノロジーと企業コンピューティング (月刊Computerworld掲載予定)
- マッシュアップ「ビジネスにおける注意点」 (iINTERNET magazine4月号)



## ◆狭義の定義

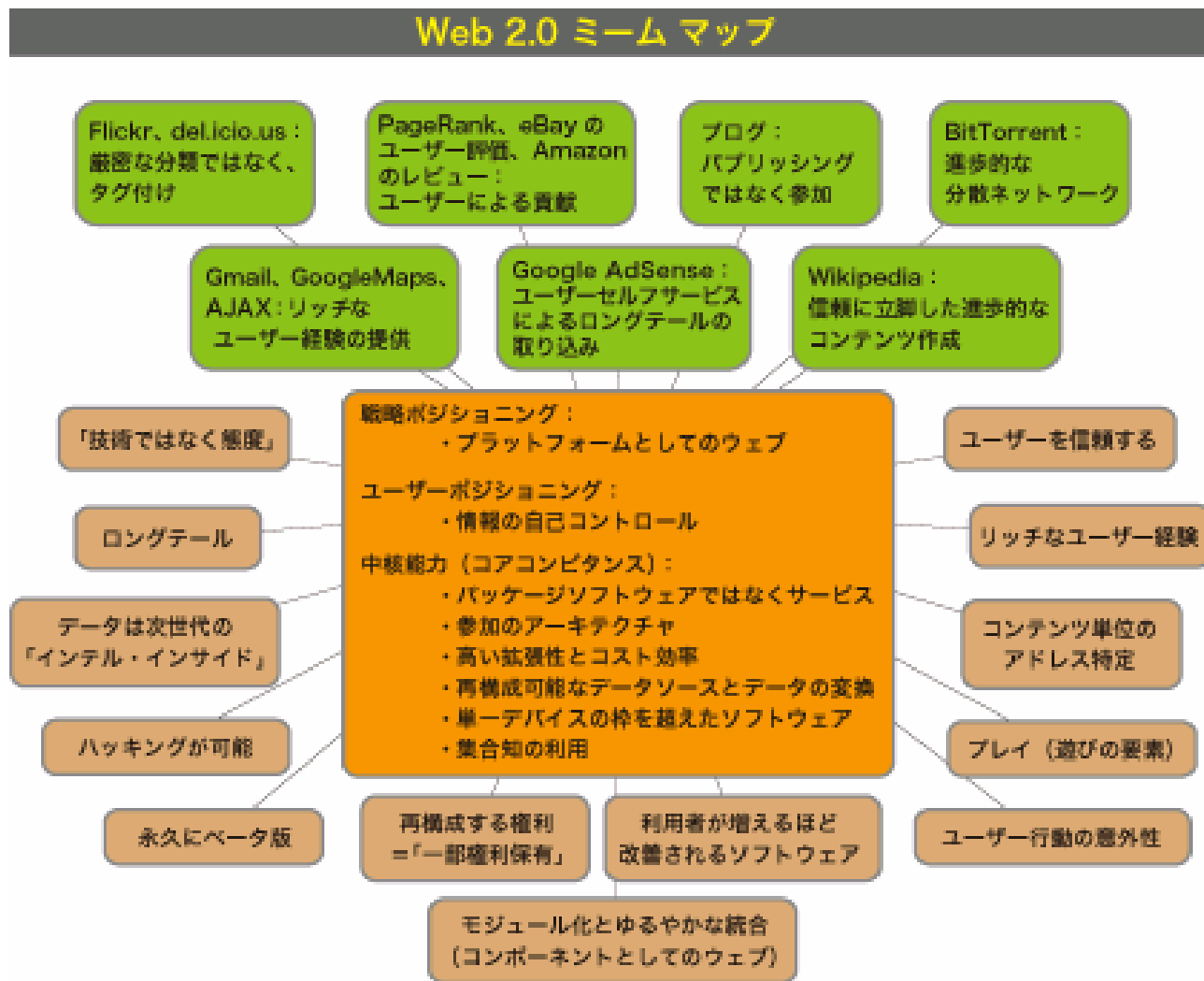
- IP層(インターネット)を中心に、標準化の進んだプロトコルや言語、デファクトとして利用され始めているサービスを基盤として捉えてアプリケーション、サービスを作り上げていくこと。

## ◆拡張定義

- アプリケーションとデータ提供をまとめて受け、サービス化させたソフトウェアを利用してプロセス実装を行うこと。サービスの提供は主にインターネット経由で行われる。アプリケーション品質と同程度もしくは以上にデータ品質が問われる。

**Webをプラットフォームに**

# オライリーのミームマップ



Web 2.0: 次世代ソフトウェアのデザインパターンとビジネスモデル(前編)  
(邦訳はCNET Japan編集部)

# Web2.0を象徴するサービス

Web1.0	Web2.0
DoubleClick	Google AdSense
Ofoto	Flickr
Akamai	BitTorrent
mp3.com	Napster
BritannicaOnline	Wikipedia
個人ウェブサイト	ブログ
evite	upcoming.org、EVDB
ドメイン名の投機	検索エンジンへの最適化 (SEO)
ページビュー	クリック単価
スクリーン・スクレイピング	ウェブサービス
パブリッシング	参加
コンテンツ管理システム	wikis
ディレクトリ (分類学)	タグ付け (人々による分類: 「folksonomy」)
スティッキネス (個々のサイトに対する顧客の忠誠度)	シンジケーション (サイトの垣根を越えた連携)

Web 2.0: 次世代ソフトウェアのデザインパターンとビジネスモデル(前編)  
(邦訳はCNET Japan編集部)

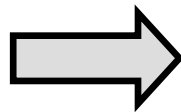
**特定サービス、ベンダーではない全体的な流れ**

# 先に事例を

## ◆ VolkswagenとGoogle

- Google Earthを用いたカーナビのサービス開発計画
- 地図データのリアルタイムUpdate、周辺サービスの提供とサーチの可能性

Google Earth



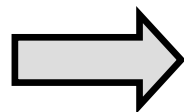
ネット越しのデータストレージを利用したの  
サービス実装

# 先に事例を

---

## ◆ Information Builders と Google

- GoogleサーチをBIツールに援用
- Googleのサーチエンジンから社内情報を検索可能

The Google logo, featuring the word "Google" in its characteristic multi-colored font (blue, red, yellow, blue, green, red) with a trademark symbol.

エンタープライズサーチはこれからの市場

# ネットとエンタープライズの融合

---

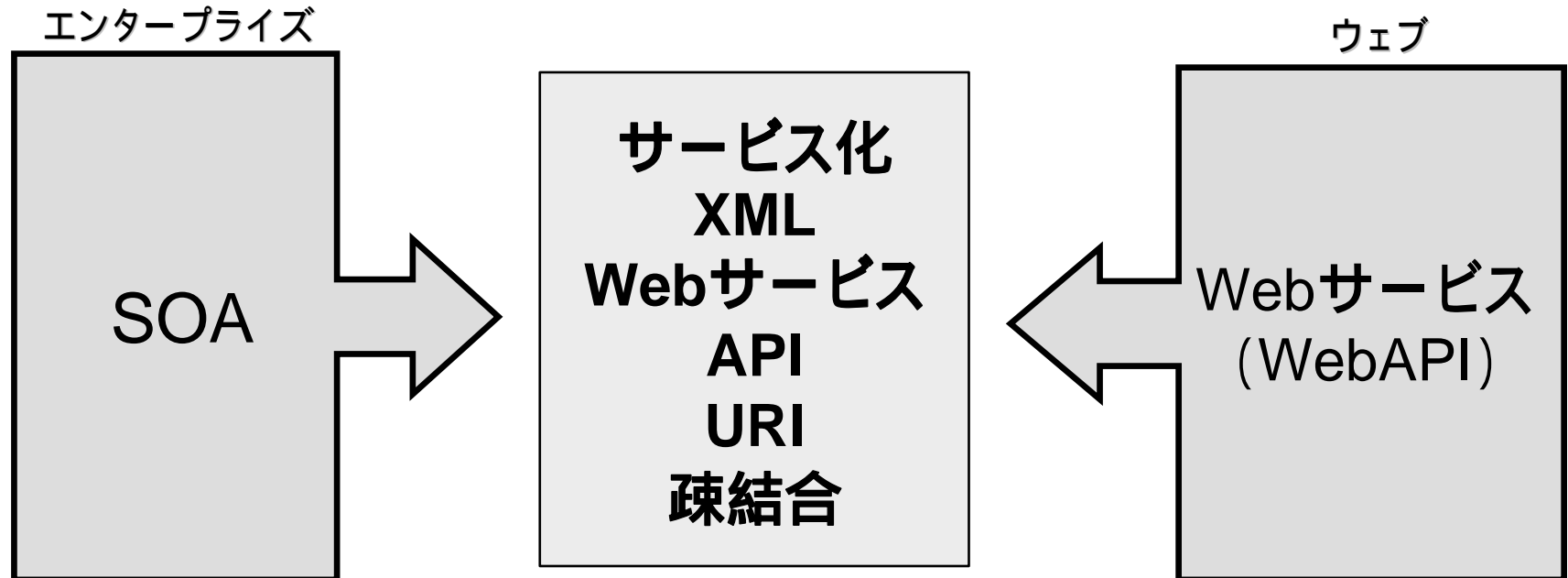
## ◆Web2.0が話題を呼んでいる理由

- IPネットワークの広範な普及
- ブロードバンド(広域データ通信)の広範な普及
- “お金になる”認識の一般普及
- 技術開発の蓄積と安定化の認識
- 10年かけて蓄積されたユーザーの慣れ

エンタープライズ、ミッションクリティカルへ

# ネットとエンタープライズの融合

## ◆エンタープライズとのシンプルな接合点

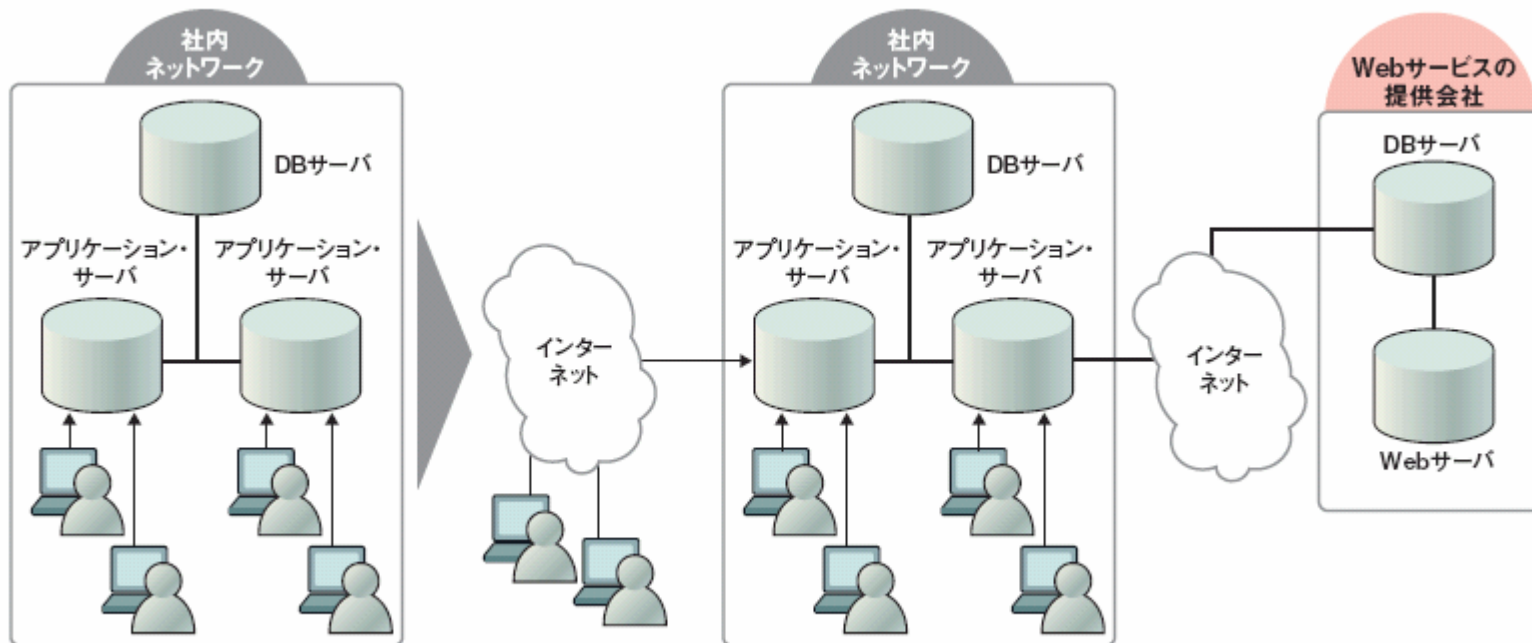


考え方は共通化しつつある

上記は簡易版ですので、自分なりの定義と理解は今日も含めて拡張ください

# アーキテクチャの簡易イメージ

図2：Web 2.0は、アプリケーション間通信の延長



「Web 2.0」が企業システムに与えるインパクトを探る（月刊Computerworld）

**基本はサーバー連動と同じ**

# アプリケーション構築の発想転換

---

- ◆ 不特定多数のユーザー行動の取り込み
  - サーチエンジンのランキング精度向上
  - フォークソノミーによるソーシャルメディアの出現
  - スпамノイズによる機能低下とフィルター機能
- ◆ 技術のコモデティ化とユーザー依存度の高まり
  - イノベーションの民主化
  - エンジニアから利用ユーザーへ
  - ユーザーとサービスの相互進化

エンジニアだけで解決しない世界

# 本日の構成

---

## ◆エンタープライズに連なるインターネット側の動向をキープレイヤーの事例をベースに

### ➤シックス・アパート株式会社 平田大治 氏

インターネット発のソフトウェアがB2Bサービスとして成立する経緯、周辺サービスの発展とともにプラットフォーム化している現状、ネットがもたらした環境変化と企業運営への影響について。

### ➤佐藤匡彦 氏

「ウェブがプラットフォームになる」という言葉が具体的に何を表すのか。サービスベンダーの役割の違いと合わせて。

エンタープライズにも関連するネット側の事例

## ◆ ネットで育った法人向けサービスを紹介

### ➤ アイオイクス株式会社 滝日伴則 氏

企業のマーケティングで無視出来なくなってきたインターネットチャネル。中でも近年急激に伸びているサーチエンジン対策のサービスとサポートツール、サービス群の紹介を。

### ➤ 株式会社環 江尻俊章 氏

自社メディアにあたるサイトの媒体価値測定及び、利用者の動向分析の基礎データとなるアクセス情報の集計分析サービス、システム化によりサービス連動、インテグレーションが行われつつある最新動向を。

ネット発のエンタープライズサービス

## ◆技術見地を交えて、次世代のシステムインテグレーション

### ➤電通国際情報サービス飯田哲夫 氏

オープンソース、コンピューティング・リソースのユーティリティ化が進む現在、Sierの役割とユーザー企業との関係がどのように変わりつつあるのか。オープンソースの開発フレームワーク「Seasar2」の商用サポート経験も交えて。

### ➤サンマイクロシステムズ藤井彰人 氏

コンピュータ技術の歴史的推移、イノベーションの結果、2.0と呼ばれる時代がなぜ到来することとなったのか。「参加の時代」に必要なインフラサービスとエンジニアの役割について。

## インテグレーションと総括

# 各社様のプレゼンテーションにつきまして

---

## ◆お聞き頂く際に

- 意図的な言葉の統一、内容統一は行っていません
- 内容範囲のみお伝えして全て各社様の考えとなります

**多様性と相互進化、全体から感じ取れる  
市場の傾向を肌でお掴み下さい**

---

---

**半日長い時間になりますが、お楽しみの上、  
十分な成果をお持ち帰りください。**

**各種ご連絡、ご依頼ご相談などはこちらまで。**

**s.watanabes@gmail.com**

**090-8308-9664**